

# 点検ハンマー

第5号 発行日 2011年 4月26日 発 責 石尾 光春・編 集 地本車技常任委員会

## N700系ブレーキディスク

### 取り付けボルトに異常…?

2011年4月7日、東京仕業検査車両所第一検修庫において、Z7編成の台車調査が下請業者のSEKで行われていました。

台車調査とは、営業車両が2万キロ走行を前後として行う検査で、各タイヤのブレーキディスクボルトの異常がないかをボルト探傷を行う検査であります。この間、100系電車や300系電車のブレーキディスク取り付けボルト折損が多発し、JR東海労が会社に折損の究明を行うように求めてきていました。

しかし、会社は明確な原因究明も明らかにせずボルトの径を変えたり、営業電車を使いテスト走行を行ってきていました。300系、700系、N700系電車のうち300系電車でブレーキディスクボルトの改良と、ボルトの探傷を行うことにより、折損は減少しましたが、そのボルト探傷により異常波形が確認されれば、台車交換をし、ボルトが折損しそうな事を防いでいたのです。その中でこの間の車両には、異常波形があって台車交換を行ってきた事象があります。

しかし、4月7日にZ7編成2号車の4タイヤ8ブレーキディスクに異常波形があるとSEK社員が確認したことは、N700系が量産してきて初めての事象ではないかと私たちJR東海労は思っています。

そして、翌8日には台車交換が行われているのです。このことは車両の検査・修繕に携わる私たち社員には全く知らされずに行われていることに、会社の安全に対しての姿勢を問わなければいけません。

このボルト異常波形に対しJR東海労新幹線地本は、「Z7編成におけるブレーキディスク取り付けボルト異常」に関する申し入れを新幹線鉄道事業本部に提出しました。会社は真摯にこの申し入れを受けいれ早急に業務委員会を開催せよ！！

## 安全確立のためJR東海労は、とことん闘います！！